

教育研究データ

1. 氏名	植田 智		
2. 生年月	1963年3月		
3. 取得学位	文学修士		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2020年4月より	①社会心理学の演習授業において、グループワークへの参加意欲を高めるため、毎回の相互評価を導入している。	
	2020年4月より	②健康心理学の演習授業において、自らの生活習慣の改善プログラムを設計し、授業外においてその実践と効果検証を行うと同時に、グループワークにて一般向けのプレゼンテーションを企画し、その相互評価を行っている。	
	2022年4月より	③社会心理学の演習授業において、オンラインによるグループワークの効率を高めるため、ブレイクアウトルーム機能を活用している。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2011年3月	広島県主催の「若者の子育てと家庭づくりに対する意識の調査研究」研究成果発表会において、子育て支援をテーマとする3種の教育実践の効果についての発表を行った。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
① 心理学への扉	共著	2006年5月	北大路書房
② 新版社会心理学用語辞典	共著	1995年2月	北大路書房
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
① 対人交渉過程に関する社会心理学的研究(Ⅲ)－他者への要請方略に及ぼす要請内容のコストおよび被要請者の社会的地位の効果－	単著	1992年3月	『広島大学教育学部紀要』第1部, 第40巻, 119-125.
② ハッピネスに関する心理学的研究(2)－ハッピネス尺度作成の試み－	共著	1993年3月	『広島大学教育学部紀要』第1部, 第41巻, 35-40.

③承諾獲得方略尺度作成の試み	共著	2017年3月	『対人コミュニケーション研究』第5号,23-38.
④肯定的自己評価が育児効力感と育児ストレスに及ぼす影響	共著	2021年10月	『広島文教大学心理学研究』第3巻第1号,57-64.
⑤大学生における居場所感と主観的幸福感の関連	共著	2022年12月	『広島文教大学心理学研究』第4巻第1号,47-59.
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
① 『忙しさ』認知および生活時間がストレスに与える影響	2006年9月		日本健康心理学会第19回大会
② 子育て支援体験による女子大学生の子育て意識の変化—体験の質的・量的違いに着目して—	2011年7月		日本教育心理学会第53回大会
③ 文教マネジメントシステム(BMS)による質保証の取組みについて	2013年8月		高等教育質保証学会第3回大会
(4) 所属学会			
① 日本心理学会			
② 日本社会心理学会			
③ 日本グループ・ダイナミクス学会			
④ 日本教育心理学会			
⑤ 日本健康心理学会			